

平成 2 2 年 1 0 月 2 8 日
新 庁 舎 1 0 4 会 議 室

平成 2 2 年第 2 0 回 立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

平成22年第20回立川市教育委員会定例会

1 日 時 平成22年10月28日(木)

開会 午後 1時30分

閉会 午後 1時58分

2 場 所 新庁舎104会議室

3 出席委員 中 村 祐 治 田 中 健 一
宮 田 由 香 古 岡 邦 人
澤 利 夫

署名委員 田 中 健 一

4 説明のため出席した者の職氏名

教育長 澤 利夫

教育部長 近藤 忠信

教育総務課長 小林 健司

指導課長 並木 浩子

統括指導主事 堀田 直樹

生涯学習推進センター長 五十嵐敏行

スポーツ振興課長 伊東 幸吉

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係 高木 健一

鈴木 啓史

案 件

1 協議

(1) 第一小学校建替計画について

2 報告

(1) 平成 2 2 年度教育委員会事業後援について

(2) スポーツゲームズ in 立川 & 東京ヴェルディについて

3 その他

平成22年第20回立川市教育委員会定例会議事日程

平成22年10月28日

新庁舎104会議室

1 協議

(1) 第一小学校建替計画について

2 報告

(1) 平成22年度教育委員会事業後援について

(2) スポーツゲームズ in 立川&東京ヴェルディについて

3 その他

開会の辞

中村委員長 ただいまより、平成22年第20回立川市教育委員会定例会を開催いたします。

署名委員に田中委員、お願いいたします。

本日は、協議1件、報告2件、その他は議事進行過程で確認したいと思います。

出席者の確認を事務局からお願いしたいと思いますので、近藤教育部長、お願いいたします。

近藤教育部長 本日の出席者ですけれども、教育部長の私のほか、教育総務課長、指導課長、生涯学習推進センター長、スポーツ振興課長、その他、統括指導主事の出席でございます。

以上です。

中村委員長 ありがとうございました。

協 議

(1) 第一小学校建替計画について

中村委員長 それでは早速、協議に入っていきます。

第一小学校建替計画について、を協議いたしますので、事務局より提案をお願いいたします。小林教育総務課長、お願いいたします。

小林教育総務課長 それでは、第一小学校建替計画についての現状と今後のスケジュールについてご説明いたします。第一小学校建替の状況につきましては、7月21日の第14回定例会でご説明させていただきましたが、その後の状況と今後のスケジュールについて、ご説明申し上げます。

昨年度策定いたしました第一小学校建替事業マスタープランをもとに、本年7月17日に、地域の住民や保護者に説明会を開催しましたが、その後も、自治会や青少健、地区委員会などへの会合にお邪魔し、プランの説明、周知に努めております。

お配りしたスケジュール表をご覧ください。

現在、マスタープランに基づいて基本設計を進めております。この中では具体的な部屋構成や面積の算定等に着手してありまして、先生方との話し合い、柴崎学習館、柴崎図書館、柴崎学童保育所及び給食調理室につきまして、それぞれの担当部署へのヒアリングを行い、具体的な設計に係る条件整理をしております。

今後のスケジュールの概略でございますが、まず今年度は基本設計ということで、現在は、先ほども申し上げたとおり、前提となる条件整理をしてありますが、今後、年末から実際の図面作成にとりかかる予定となっております。

それと、先般の9月市議会定例会で補正予算をいただきまして、図面作成のデータとなります敷地のボーリング調査、このスケジュール表では地盤調査となっておりますが、こちらと敷地の高低測量を行う準備をしております。

そして平成 23 年度になりますと基本設計が完成してきますので、続いて実施設計に移ることになります。この実施設計につきましては、平成 24 年度の前半まで時間をとりまして、しっかりとした図面作成を依頼したいと考えております。

同じく平成 23 年度の予定としましては、今のところ当初予算に校舎、体育館の解体設計、仮設校舎仕様書作成、電波障害の事前調査委託料、耐力度調査、地歴調査を行ってまいりたいと考えております。

このうち耐力度調査は、今回の第一小学校建替事業が文科省の国庫補助を受ける対象となり得るかどうかを判断するために必要な調査であり、耐震性能だけでなく、総合的に建物の老朽化度合いを判定するものでございます。

また、地歴調査と言いますのは、今回、道路をへだてまして第二校庭を使用しますが、この校庭を使用した経緯の中で、この土地が以前東京都の養蚕関係の試験工場として使用されていたという事実がございますので、土地の汚染状況を確認するために行う調査となります。

仮設校舎の契約につきましては、平成 23 年 10 月ごろ契約し、設計、工事を行います。平成 24 年度になりますと、完成した仮設校舎への引越、そして校舎及び複合施設等の建設工事、それから既存校舎及び体育館の解体作業といった手続きを行ってまいります。

平成 24 年度から平成 25 年度を経まして、平成 26 年の 7 月には新校舎と複合施設等の完成、そして仮設校舎から新校舎への引越作業を行って、平成 26 年 9 月に新規開校といった形になります。

そして最後に残った仮設校舎の解体作業や校庭整地といった作業を行って、事業の完了を予定してございます。

以上が現時点で予定しているスケジュールの概要です。今後、学校、保護者、地域などのご理解を得ながら、工事の着手に向け準備を進めてまいりたいと考えています。

説明は以上でございます。ご協議よろしくお願いたします。

中村委員長 ありがとうございます。資料に基づきまして現状と今後のスケジュールを説明いただきました。平成 22 年度から平成 26 年度、9 月の新校舎での授業開始までの予定を説明いただきました。

提案説明にありましたけれども振り返ってみたいと思いますが、平成 21 年第 23 回定例会で第一小学校建替計画について協議して、大まかな方向性は確認したところです。平成 22 年第 20 回定例会では、この第一小学校建替計画での協議を受けて、マスタープランについて協議して、例えばコンセプトとか前提条件などを確認して、マスタープランについてその方向性を確認したところです。その後、小林教育総務課長から説明がありましたとおり、平成 22 年第 14 回定例会でその後の検討協議会の報告を受けたところでございます。

振り返って私から説明したとおり、協議とか経過報告の連続性の積み重ねで今日はマスタープランに基づきまして具体的な基本設計以降の工程、スケジュールについて説明をいただいたものでございます。この建替そのものについては市長部局の権限に属するものですが、教育委員会といたしましては、教育的配慮の基本的な内容について、教育委員会とし

て協議して確認するものでございますので、そうした今までの経過とか本日協議する趣旨を汲んでいただきまして、何か特筆すべき基本的な考えあるいはご質問も含めて、お気づきの点あるいはご意見などありましたらよろしくお願ひしたいと思います。

田中委員、お願ひいたします。

田中委員 ただいま小林教育総務課長のほうから具体的に建替工程について説明がありました。それについて2つ質問させていただいて、1つはお願ひということで申し上げます。

1つ目は、地盤調査が10月から行われるわけですけれども、地盤調査ほかについては、ボーリング等の調査を行えば安心あるいは安全の面から約4ヵ月かけて実施される予定になっています。この調査に遅れはないのかということですが、万一遅れた場合には建替の委託や、あるいは工事全体に遅れは出ないのかというのが1つ目です。

2つ目が、工事スケジュールをご覧になるとわかるのですが、平成24年2月が仮設校舎建設開始、完成が同年7月中旬、仮設校舎引越が8月上旬です。これは学校側の引越の余裕を考えた場合に、この仮設校舎の建設を早めることは可能かということが質問の2つ目です。

中村委員長 2点質問がございましたけれども、小林教育総務課長、お願ひいたします。

小林教育総務課長 ご質問にお答えいたします。

地盤調査、こちらは現在、基本設計を行っておりますが、この基本設計にこの地盤の内容を反映させるために行うものですが、具体的には、いま田中委員もおっしゃいましたように、ボーリング調査を6ヵ所程度行うということで、この地盤によって建物自体に杭が必要かどうか、この辺を見極めるものでして、この調査によって今考えているスケジュールが遅れたり、早まったりということは一切ございません。これはあくまでも今後の構造等を決めていく上での調査ということになります。

2つ目の仮設校舎でございますが、この資料では読みにくいのですが、仮設校舎の上のスケジュールの矢印につきましては、平成23年の夏以降から入っていますが、実は仮設校舎の実施設計と建設とリース契約、これを同じ会社で一体的に契約しようというふうに考えておりまして、この上の矢印は仮設校舎の、今申し上げました実施設計と建設とリース全てを反映した矢印となっております。この中で、契約した業者につきましては、実施設計そのものは基本的に契約の時点で、プレハブの仕様というのは決まってくるので、業者の実施設計はある程度出来上がっており、建設自体は業者の準備がある程度整えば建設に入るという状況になります。

ですので、ここに書いてありますように、夏以前に仮設校舎については完成できるというふうに考えていまして、この予定で引越については夏休みを利用して行くと、こういう予定でございます。

中村委員長 そして9月から仮設校舎で授業が無事開始できるという予定だということによろしいですね。

小林教育総務課長 はい、そうです。

中村委員長 田中委員、今の2点についての回答はそれでよろしいですか。

田中委員 はい。ありがとうございます。

あと、お願いが1つあります。この建替工事にあって、これまでいろいろなコンセプトがあったわけですが、具体的な実施計画等を確認していただきたいと思います。

中村委員長 コンセプトとか前提条件、特に子どもたちの安心安全の問題、授業、教育課程に影響がないかということなどありますので、あるいは児童の動線についてきちんと確認して、マスタープランから具体的なプランにしていっていただきたいという要望だと思います。

特に複合化に関して不安を感じている面もございませけれども、しかしながら、ただハード面ということではなくて、教育内容のメリットを生かすという点も大事だと思います。また、これは学校の問題になるかもしれませんが、平成 25 年度、26 年度あたりから教育課程にメリットを生かすということも大切になってくると思います。

ほかございせんか。

〔「ありません」との声あり〕

中村委員長 そうしましたら、第一小学校建替計画（案）（案）というのは変更があり得るということの（案）で、きょう（案）をとるという意味ではございせんね。

小林教育総務課長 表の下に「工程は現時点での予定です。」となっています。いろいろな要素が加わってきますので、その段階で若干のスケジュールの変更はそのつどお知らせしますが、そういう意味での（案）でございます。

中村委員長 それでは、第一小学校建替計画について、今、小林教育総務課長がご説明したスケジュールで今後仕事を進めていくということで確認してよろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

中村委員長 では、その方向性を確認いたしましたので、協議（1）第一小学校建替計画について、を終了いたします。

今後も、建替計画（案）でございますので、進行状況とか工程の変更が生じた点、節目、節目での報告についてはよろしくお願ひしたいと思います。

報 告

（1）平成 22 年度教育委員会事業後援について

中村委員長 続きまして報告（1）平成 22 年度教育委員会事業後援について、報告をお願いいたしますが、資料の一覧表が2つございますので、今日はお二人から報告ということになるとは思います。はじめに五十嵐生涯学習推進センター長、お願ひいたします。

五十嵐生涯学習推進センター長 それでは、平成 22 年度教育委員会事業後援について、報告いたします。

事業後援につきましては、立川市教育委員会が各種事業を後援する基準を定めた立川市教育委員会事業後援規程に基づき、教育長の専決事項として事業後援の承認をしているところでございます。

平成 22 年度上半期 4 月から 9 月までの事業後援につきましては、お手元の概要資料をご覧

ください。

上半期の申請件数は37件で、そのうち新規が9件、24%。過去3年間に事業後援を受けたことがあるもの、実績ありが28件、76%でありました。上半期37件のうち36件を事業承認し、1件につきましては、取り下げとなっております。

申請事業の事業分野では、上半期で一番多かったものが文化13件35%、申請事業の対象者は、一般が29件78%、子ども・親子が8件22%でございました。

2枚目以降の資料につきましては、平成22年度上半期教育委員会事業後援申請一覧で、具体的な内容を示すものでございます。

生涯学習推進センターからの報告は以上です。

中村委員長 続きまして、もう一つの指導課受付分をお願いいたします。

並木指導課長、お願いいたします。

並木指導課長 続きまして、平成22年度上半期の教育委員会事業後援の中で、指導課の受け付けた分について、ご報告いたします。

別添の資料の中の右上に、(指導課受付分)と書かれたものがそれに当たっております。

件数といたしましては、全部で5件の記載がございますが、一番下の5番目につきましては、これは10月6日の収受ということになり、10月14日の決裁でございますので、厳密に申しますと、こちらは下半期のものが1件記載がございます。

上半期、受付番号1から4までのもの、これはいずれもこれまでも後援を続けてきたものでございまして、今年度、新規で指導課受付をし、後援をしたものは今年度についてはございません。

以上でございます。

中村委員長 それでは、続きまして近藤教育部長、お願いいたします。

近藤教育部長 今、五十嵐生涯学習推進センター長と並木指導課長のほうから説明いたしましたが、事業後援申請一覧をご覧いただきたいと思いますが、まず生涯学習推進センターのほうの一覧表の9番、「租税教室」についての後援の申請がございます。それから、指導課分のところの3番、ここに同じように「租税教室」についての申請がございます。

「租税教室」につきましては、小学6年生の社会科授業及び中学3年生の公民授業の補完授業として、税の大切さを理解してもらうための出前講座でございますので、毎年指導課による行政承認によって後援を行っております。

平成22年度につきましては、事務処理上の不手際もございましてこういう形になってしまいました。指導課長が説明いたしましたとおり、今年度につきましても、昨年同様、行政承認によりまして後援を既に行っているところでございます。

今後、こういう不手際のないように十分気を付けてまいりますので、よろしくお願いいたします。

中村委員長 わかりました。租税教室についての説明がございました。

それでは、ただいま申請概要とか申請一覧、2種類ございましたけれども、その内容、趣

旨について説明いただきましたけれども、質問、感想がございましたらお願いいたします。

古岡委員、お願いいたします。

古岡委員 受付番号22番、新規で公益的団体の立川市医師会、「骨ケアフェスタ2010in立川」
9月5日に女性総合センターアイムで成功させていただきました。

医師会の機関誌にも、教育委員会と医師会の緊密な関係を確認したと掲載されました。どうもありがとうございました。

中村委員長 教育長の専決ということで報告ということになっておりますが、よろしいですか。ほかございますか。

宮田委員、お願いいたします。

宮田委員 特に問題があるということではなくて、今後、学校教育分野が増えていくかもしれないというふうに感じまして、せっかくですので、ここでの効果ですとか団体等の報告がもしあれば、伺っておきたいと思っております。

中村委員長 五十嵐生涯学習推進センター長、お願いいたします。

五十嵐生涯学習推進センター長 今回提出させていただきました資料につきましては、申請内容ということでどういったものかということで提示させていただいておりますが、各団体からは事業が終わった後には報告が上がっております。

その中で、一定の評価はこうだというような形の内容は付記されておりますので、もしそういうことであれば、併せてお知らせしていくような形にしたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

中村委員長 ありがとうございます。

ほか、ございますか。よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

中村委員長 それでは、報告(1)平成22年度教育委員会の事業後援について、を終了いたします。

報 告

(2) スポーツゲームズ in 立川&東京ヴェルディについて

中村委員長 続きまして報告(2)スポーツゲームズ in 立川&東京ヴェルディについて、報告を事務局よりお願いいたします。伊東スポーツ振興課長、お願いいたします。

伊東スポーツ振興課長 それでは、スポーツ振興課からスポーツゲームズ in 立川&東京ヴェルディについて、ご報告をさせていただきます。

立川市では、平成20年度より、日本テレビフットボールクラブに出資しております。現在はJリーグのほうに資本が移ってございますけれども、少年や高齢者に対するスポーツ振興の観点から、楽しくスポーツを体験するスポーツゲームズに協力するものでございます。

昨年もお願ひしてございますが、今年は11月6日に開催する予定です。

この計画の中心的な役割を担っておりますのは、NPO法人MIPスポーツ・プロジェクト

ト、この団体は東京ヴェルディとサッカー連携を図っており、トップアスリートによる指導態勢のスポーツ教室の開催を全国二十数ヵ所において行っております。

このスポーツの目的でございますが、様々なスポーツルールにふれ、新しいスポーツへチャレンジし、トップアスリートとの交流をしながらスポーツの楽しさを体験してもらう企画となっております。また、独立行政法人、国立青少年教育振興機構の子ども夢基金助成事業でございます。

配付の資料をご覧くださいと思います。

今回は「チャレンジスポーツラリー」と「MIP親子コーディネー」の2本を計画しております。チャレンジスポーツラリーは3種目、サッカー・バスケットボール・ハンドボールということで、各30名、3班、90名、MIP親子コーディネーは5・6歳児及び小学校1・2年生を対象にした親子で楽しむゲームとなっております。

ここで3年目でございますけれども、広報の周知だけでかなり多くの応募、希望者がきておりますので、大変大きく周知が図ってこられていると担当としては考えているところでございます。

以上、大まかな計画でございます。よろしくお願い申し上げます。

中村委員長 ありがとうございます。ご説明をいただきましたけれども、質問、感想等ございましたらお願いいたします。

澤教育長、お願いいたします。

澤教育長 3年目ですけれども、感想を言えば、MIP親子コーディネーというのは、親子でふれあうことで、見ていて本当にすばらしいものなので、私は是非これは続けてほしいという話をしたのですが、親と子のスキンシップがなかなかできないと言われている中で、こういう事業を進めていくと幼・保・小の連携ではないですけれども、そういう一つの方法かなと思います。感想です。

中村委員長 ありがとうございます。

私どもも家庭教育の問題についても話し合わなければいけないけれど、こうして親子ふれあいの機会を提供するというのも考えていく必要がある一つの資料提供だと思います。

ほか、ございますか。宮田委員、お願いいたします。

宮田委員 感想ですけれど、かつて学校の学年行事などで親子体操というのをやった記憶がありまして、それがこういう形でNPO法人と連携してできるということは大変すばらしいことだと思います。どんどん進めていければいいと思います。

中村委員長 これだけでなく、親子のふれあいを促す、背中を押すことに関して、我々としてもいろいろな面で考えていかなければいけないということだと思います。

澤教育長、お願いいたします。

澤教育長 もう一つ、1番目のチャレンジスポーツラリーですけれど、これは同時に3種目を体験するという、どちらかというと、今はサッカーならサッカーだけというのがありますが、小さなうちは、いろいろなスポーツに親しむという機会をつくるのが大事だろうと思

ます。

中村委員長 やはり小さいうちは幅広くいろいろなものを体験するというのも大事だと思います。感想が出ましたけれども、ほか、ございますか。

宮田委員、お願いします。

宮田委員 総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業ということもあって、いろいろな切り口がこういったNPO法人と連携することでできるということがわかりました。増々こういった連携が増えてくればといいと思います。

中村委員長 総合型というのがキーワードということですね。

ほか、ございますか。よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

中村委員長 それでは、報告(2)スポーツゲーム in 立川&東京ヴェルディについて、を終了いたします。

その他(1)

中村委員長 その他1件、澤教育長、お願いいたします。

澤教育長 本日午後3時30分から、教育施策全般について、我々教育委員と市長、副市長との懇談会が開催されますので、よろしく申し上げます。

後ほどご案内を申し上げますけれども、よろしく申し上げます。以上です。

中村委員長 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づいて、市長との教育内容の理解、その他連携についての市長懇談を行うものでございます。

その他ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

閉会の辞

中村委員長 それでは、平成22年第20回立川市教育委員会定例会を閉会いたします。

次回、平成22年第21回立川市教育委員会定例会は、11月11日、午後1時30分より、新庁舎104会議室にて開催いたしますので、出席をお願いいたします。

午後 1時58分閉会

署名委員

.....

委員長